

単元名	わたしたちが創る 久が原の町 ～KDPプロジェクトを通して～		学年	6年生
内容	B_地域の創生 ク：地域のイベントへの参画型		総時間数	35
目標	インタビューを通して、地域の課題を知り、これまでの経験や既習内容を活かしながら、自分たちができることを考え、地域の方に提案し実行していく活動を通して、未来を創造するための見方・考え方を身に付ける。さらに、他教科と関連したことを生かして、地域・社会・未来をより豊かにしようする資質・能力を活用する態度を養う。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	・久が原自治会の方々や地域の方々、ワークストア・トウキョウドウの方の話を聴く。 ・コンセプトを設定するために必要な情報収集や調査を行う。 ・インタビューの方法を考える。 ・情報収集をして疑問に感じたことや、より深く知りたいことなどを、ワークストア・トウキョウドウの方などにインタビューする。 ・収集した情報を整理して、地域を盛り上げるためのジュース販売のコンセプトを設定する。			・地域の方々 ・ワークストア・トウキョウドウ ・おやじの会
デザイン	・ジュースの特徴を明らかにしたり、広報の方法について理解したりする。 ・コンセプトにあったアイデアを発想する。（個人→グループ） ・プレゼンテーションの方法を考える。 ・デザイナーからジュースのラベルデザインについての基本的な考え方の話しをしていた。 ・ラベルデザインを作成する。 ・ワークストア・トウキョウドウの方に、ラベルデザインをプレゼンテーションする。 ・提案したラベルデザインに対して、ワークストア・トウキョウドウの方の評価やアドバイスを受ける。			・地域の方々 ・ワークストア・トウキョウドウ ・デザイナー
クリエイション	・受けた評価等を踏まえて、アイデアを改善する。 ・地域の飲食店に自分達の学びの過程をプレゼンテーションをして、商品化に向けて働きかける。 ・地域の飲食店でジュースの販売を実施する。 ・地域の方々などの評価やアドバイスを受けて取組を振り返る。			・地域の方々 ・ワークストア・トウキョウドウ
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。		9
	書くこと	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。		
	書くこと	・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。		
	話すこと・聞くこと	・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。		
	話すこと・聞くこと	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。		
社会 (第5学年)				
社会 (第6学年)	公民	・政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。		3
算数 (第6学年)	データの活用	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。		2
理科				
理科 (第6学年)	物質・エネルギー_第6学年	・「物質・エネルギー」の内容で学んだことを生かし、ものづくりを行うこと。		3
図工				
家庭	消費生活・環境	・環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。		2
体育				
外国語	外国語	・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。		1
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。			15